



自民党・無所属 大阪府議団だより

自民党府議団政調会長

令和3年9月定例府議会》代表質問

原田こうじ議員が

再生可能エネルギー100%電気導入の促進や
スマートシニアライフ事業、受動喫煙防止条例の段階的施行の延期、
太陽の塔の世界遺産登録などについて質問しました。

Profile

池田市選出

昭和55年9月5日生まれ／大教大附属池田小学校／大教大附属池田中学校／関西大倉高校／甲南大学法学部卒業／(株)NEXYZ勤務を経て、衆議院議員 原田けんじ 秘書／平成31年4月より府議会議員(二期目)／現在府議団政調会長 環境農林水産常任委員長 議会運営委員

再生可能エネルギー

府有施設における再生可能エネルギー 100%電気の調達



大手前庁舎のみならず、他の公共部門でも積極的な導入を

Q 原田議員 カーボンニュートラルの実現に向けては、再生可能エネルギー100%電気導入の促進が重要。府は昨年度入札を実施し、本年4月から大手前庁舎で再生可能エネルギー100%電気を使用しているが、従来の一般電気に比べて7%程度の価格上昇があったと聞く。さらなる二酸化炭素の排出削減には一定の追加コストが必要であったとしても、他の府有施設でも導入を積極的に進めていくべきだ。環境農林水産部長に問う。

A 環境農林水産部長 「ふちよう温室効果ガス削減アクションプラン」では「環境に配慮した電気の調達」を掲げ、府有施設で使用する電気を再生可能エネルギー100%電気に切り替えることをめざしています。今年度も施設所管部局と調整を進めており、大手前庁舎に加えて他の施設でも切り替えを条件とした入札を実施します。

スマートシニアライフ事業

大阪スマートシニアライフ事業の意義について

2025年にユーザー100万人をめざしているが達成の手段は

Q 原田議員 大阪スマートシニアライフ事業は“高齢者の抱える課題をICTの活用により解決する事業”とのことだが、本事業の意義を今一度確認したい。事業においてはエビデンスに基づいた政策立案、いわゆるEBPMの観点から適切なKPIを設定し効果を検証すべきものと考えているが、本事業のKPIは何を目標としているのか。また、2025年にユーザー100万人をめざしているが、どのような手段で達成していくのか。

A スマートシティ戦略部長 本事業は団塊世代すべてが後期高齢者になる「2025年問題」が迫るなか、社会全体のデジタル化の加速を生かし、高齢者の多様な活動をICTの活用を通じてサポートすることにより、生活の質向上の実現を第一の意義と認識。本事業のKPIは、当事業へのサービス利用者数に加え、例えば、利用者の生活の利便性の高まりの状況を示すものとして「本事業の各種サービスの利用率」などを提案したい。2025年に100万人の利用者数を目標としているが、まず、今年度中に限定的なエリアで府が専用タブレットを1千台程度貸与する先行事業から開始し、順次、エリアを広げ、タブレットだけでなくスマートフォンにダウンロードして使えるようにするなど規模の拡大を図っていく。コンテンツの充実等も進め、万博開催の2025年まで目標を実現できるよう取り組んでいきます。

受動喫煙防止条例

大阪府受動喫煙防止条例の 段階的施行の延期を要望

コロナ禍で疲弊する飲食店の皆様の声に耳を傾けて！

Q 原田議員 2019年3月に制定の「大阪府受動喫煙防止条例」では、健康増進法を上回る規制として「従業員を雇用する飲食店は『原則屋内禁煙』に努めなければならない」とする規定を2022年4月から施行としている。府民の健康のために受動喫煙防止対策を進めることを否定するものではないが、新型コロナウイルスの感染拡大は未曾有の事態であり、飲食店の方々がこれほどご苦労されているなか、あえて本条例の一部施行を実施する必要があるのか。

A 健康医療部長 来年4月の条例の一部施行にあたっては、受動喫煙の防止に関する進捗状況や事業者等の意見を把握するため、飲食店を対象にした調査を実施。条例の円滑な施行に向けて、その結果等を踏まえた飲食店への支援策や府民への周知方策について、来年度の予算議論までに検討してまいります。



太陽の塔の世界遺産登録

1970年大阪万博のシンボル「太陽の塔」を 2025年大阪・関西万博のインパクトに

世界遺産登録に向けた取り組みを加速させていくべき

Q 原田議員 1970年大阪万博のシンボルである「太陽の塔」について、2025年大阪・関西万博のインパクトになるよう、世界遺産登録をめざして取り組むべき。道のりは長いことは承知しているが、2025年大阪・関西万博の機運の高まりを受け、1970年大阪万博及び太陽の塔にあらためて注目が集まることも考えられる。この機を逃さず、世界遺産登録を加速させていくべきだが、どのように取り組みを進めていくのか。

A 府民文化部長 「太陽の塔」は昨年8月に登録有形文化財の登録を受けたところ。今後、世界遺産の登録をめざすにあたっては、原則、重要文化財の指定を受ける必要があり、文化庁自らが調査を行い候補を選定後、国により指定される。府は文化庁の調査に先立ち、詳細な学術調査を実施し、有識者の意見を聞き報告書を取りまとめ、国への積極的な働きかけを考えております。まずは重要文化財の指定を受けられるよう取り組んでまいります。